

# ヘルス・サイコロジスト

Health Psychologist

No.55 2011年8月

## アングル

### 一般社団法人 日本健康心理学会 第24回大会の開催にあたって

第24回大会統括委員長 長田久雄  
第24回大会運営準備委員長 織田正美

まず、3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、大震災および原発事故の被災地の一日も早い復興・復旧を願っております。

被災した各県には、学会員の方々もかなりおられます。そうした状況で行う第24回大会では、災害関連の特別講演やシンポジウムを企画するとともに、学会として被災地の会員の安否情報を確認するなど、種々の対応を提起しております。

さて、日本健康心理学会は2010年7月1日をもって、任意団体から民法上の法人格を持つ「一般社団法人」になりました。それに伴い、事業年度も7月1日から翌年6月30日までに変更されます。今後の学会運営は民法に準拠した「定款」に従って行われることになり、学会業務もより厳正に行われねばなりません。執行部をはじめ、役員の負担と責任はこれまでより大きくなり、細かな

実務レベルのことが要求されますが、一方で学会に対する社会的認知度(dignity)は格段に高まり、対外的にも官公庁や行政がそれなりの対応をしてくれるという大きなメリットがあります。

また、日本心理学諸学会連合という心理学関係の連合体は45の学会で構成されますが、そのうち社団法人になっているのは本学会を含めて4学会のみです。このように法人化の意義は大きなものがあります。

第24回大会では、「学会法人化記念式典」を大会初日の夜に行い、中国心理学会会長の林崇徳教授(北京师范大学)をはじめ、数人の有識者をお招きして祝辞を賜る予定です。

今大会は本学会の理事会主催で行われ、運営準備委員会(理事を含む約20人)のスタッフが大会内容の企画・準備を行います。また、本学会の関連団体である日本心理学諸学会連合と、日本心理医療諸学会連合(U

PM)の後援を得ています。

会期は9月11日、12日の2日間で、早稲田大学の国際会議場を全館利用して行います。プログラム内容については11ページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

さて、今大会ではメインテーマをあえて掲げませんでした。学会が一般社団法人として新たに生まれ変わったことを記念して、あらためて「健康心理学の本質」を考えることが重要な課題であると認識しています。健康心理学は、医学、看護学、生物学、福祉学、社会学、教育学、体育学、栄養学などとも密接な関係があり、いわゆるinterdisciplinaryな学問で、具体的な研究成果に基づいて社会に貢献する応用・実践の学問です。学会員にもこうした分野の方々がたくさんおられます。

こうした状況の中で、「健康心理学の本質は何か」、また、「将来的な発展の方向性はどこにあるのか」ということを、あらためて再検討する時機に来ているといってもよいかと思います。

多くの学会員の方々にこのようなオリエンテーションを念頭に置いていただき、第24回大会を機会に議論をしていただければ幸いです。